

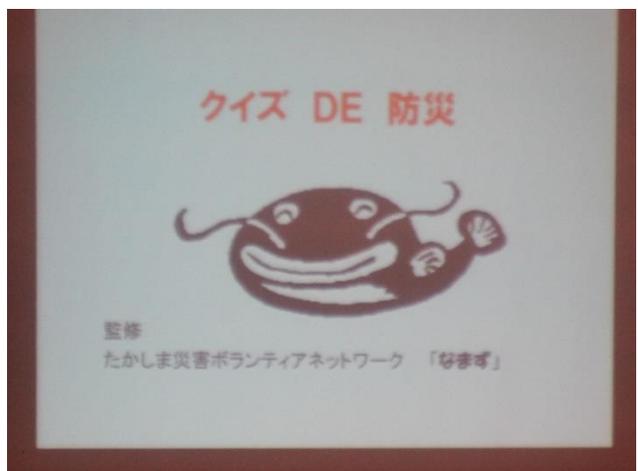
平成30年度消防防災講演会を開催しました

平成30年度滋賀県消防協会消防防災講演会を12月9日（日）14時からアイリッシュパーク「ガリバーホール」（高島市）において開催しました。

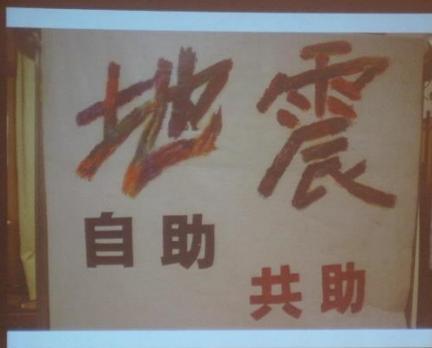
講師は「たかしま災害支援ボランティアネットワークなまず」の太田直子様をお迎えし「備えと構えで減災を目指す」をテーマにご講演を頂きました。

阪神淡路大震災、東日本大震災をはじめ、西日本豪雨や相次ぐ台風による被害等、自然災害が後を絶たず、益々広域化、複雑多様化の様相を呈し、尊い人命や財産が失われるなどの甚大な被害をもたらしています。そのため、日頃から防火防災に対する知識や意識をより一層高め、災害に備える事が必要となります。いざというときに「生命」を失わない事の大切さ、それを最優先に守るべく、過去の災害に学び教訓を生かす事が「減災」につながる。そのようないざというときこそ地域周辺で結束し、出来ることから少しずつ実践していける「減災」をクイズなどをおりませ、わかりやすく教えていただきました。

300人近くの聴衆の皆さんは最後まで熱心に聴講され、しっかりと学習されていました。



平成30年度 消防防災講演



7. 琵琶湖の地震が 迫ってる **ハイ**
その時命を 守るには **ヘイ**
正しい知識を 身につけて **ホイ**
「備えと構え」で 憂いなし **ヤーツ!**



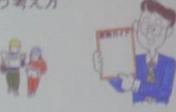
たかしま災害支援ボランティア
ネットワーク「なまず」

「備えと構えで減災目指す」
—防災から減災へ—



起こる災害を防ぐことはできないが、
被害を小さくすることはできるという考え方

災害時に最優先すべきもの
それは『命』です。



『命』を守るためには、
災害の起こる前の「備えと構え」、
起こったときの「避難」に勝る対策なし!!

